



2018年3月20日発行

けんいちだより

発行責任者：(公明党 さいたま市議会議員) さいとう健一 住所：さいたま市見沼区深作 3-22-7

2月定例会 活動報告

さいたま市議会 2月定例会が2月6日から3月16日まで39日間の会期で開催されました。

今定例会では、市長提出議案が94件、議員提出議案が7件、請願書が16件を審議いたしました。

議案内容と審議結果につきましては、さいたま市議会ホームページの議会資料検索システムの審議結果でご覧になれます。

また、2月定例会の常任委員会(文教委員会)で以下の3項目について議案外質問をしました。



1. 外国人児童生徒への日本語指導について

(1) 外国人児童生徒の現状と今後の推移について、(2) 日本語指導の現状と課題について、(3) 保護者への指導教育について

2. 教員の意識調査について

(1) 意識調査の目的と調査方法について、(2) 意識調査の内容と結果について、(3) 意識調査の分析と今後の取り組みについて

3. 学校施設の目的外使用について(子ども食堂等の利用)



©NEW KOMEITO

2. 教員の意識調査についての質問要旨

さいたま市の教員の意識調査で「教員の仕事にやりがいを感じている」数字が全体の95.3%と、ほぼ全員がやりがいを感じています。教員のやりがい、モチベーションを落とすことのないように、教員の負担軽減に取り組んでいただきたいと思います。

具体的には、過労死時間を超える長時間勤務の是正に結果を出していただきたいということです。(中略) 本定例会の初日に平成30年度教育行政方針で、日本一の教育都市の実現を目指してさまざまな取り組み内容が発表されました。全てが、未来の宝であります子どもたちのための内容であり、その子どもたちのために一生懸命現場で汗をかいて、休日も返上して、教育委員会から打ち出された教育行政に取り組んでいるのが学校の先生方です。本気になって日本一の教育都市を目指すのであれば、本気になって教員の長時間勤務の是正に取り組み、ワーク・ライフ・バランスのとれた、心身ともに健全な学校の先生を築いていくことが、子どもたちのための日本一の教育都市の実現が図られると考えますが、教育委員会の見解を伺います。

教育委員会の答弁要旨

細田教育長を先頭に、教員の働き方改革というのは本気で取り組む業務の一つとして捉えております。できるものはすぐやるという考え方のもと、やれるものについては積極的に取り入れてやっていきたい。

<その結果平成30年度より新たに取り入れることになったもの>

・部活動指導員(高校1校、中学校7校で約20名の指導員を導入)・ICカードによるタイムカードの導入(教員の在校時間の意識改革)・夏休みに学校閉庁日3日間の設定

さいたま市子ども家庭総合センター（愛称：あいぱれっと）が開設

4月1日オープン!



本施設は、乳幼児から青少年を含む幅広い年代の子どもとその家庭、そして、地域の子育て機能を総合的に支援する中核施設として位置づけ、子育て支援を担う多様な担い手が、本施設において各々の知識や知恵を提供しあい、協働を密にすることで、さいたま市の未来を担う子どもや青少年が心身ともに健やかに育つ、「子育てしやすいまち 若い力の育つまち」の実現を目指す拠点として4月1日よりオープンとなりました。

詳しくは、さいたま市ホームページにてご確認ください。
<http://www.city.saitama.jp/003/001/0014/002/p058076.html>

さいとう健一は、子育てで奮闘されているご家庭の皆様にも”あいぱれっと”の全ての機能が行き当たり、支援と援助につながるよう取り組んで参ります。



センター長より施設の概要説明を受ける、公明党さいたま市議員



《所在地》さいたま市浦和区上木崎4丁目4番10号

《アクセス》JR与野駅東口より徒歩7分

《施設の構成》

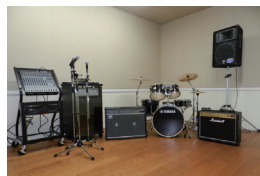
1階 市民コンタクトスクエア

3階 子どもケアホーム・あいぱれっと教育相談室

4階 児童相談所・こころの健康センター・男女共同参画相談室・総合教育相談室

《貸施設》

多目的ホール・調理室・バンドスタジオ・ダンススタジオ



公明党 さいたま市議会議員

さいとう健一

皆様のご意見・ご要望をお気軽にお聞かせください。

ホームページ <http://www.k-saito.jp>

☎ 048-680-3827

✉ saito@k-saito.jp